

# 玉島ディーゼル野球部の歴史

記録担当 中村 正則  
(敬称略)

年 代	野 球 部 の 足 跡	時 代 背 景 他
昭和23年	会社が設立される	
24年	野球部を創る 職人と養成工の集まりで同好会的チーム 部員の手により会社敷地内北西部を整地 土を入れグラウンドを造る	野球部長 宮崎 堪 顧問 山本 芳夫 監督 森本 康夫 主将 森分 嘉裕
25年	玉島地区の予選に出場	
26年	玉島地区の予選に初優勝す 高梁川を越えると1勝もできなかった	中村、山本入社 今井、吉田他社外応援
27年	* シーズン初めの西日本準硬式野球大会 県予選で優勝す * 西日本大会(於金沢市)に出場、準々 決勝まで進出した この大会に於ける成績で我々もやれば出来る の自信となった * 国体軟式県予選(玉商グラウンド)で優勝、県 代表として、中国地区代表決定戦(於防府球場) に出場するも「鐘紡防府」に惜敗す	二代目監督に大野仁之助就任 早瀬、吉井入社 林(竹夫)社外補充  (参考) 当時の全国的な大会は ①全日本軟式 ②国体 の軟式、準硬式 ③西日本準硬式 ④中国五県 準硬式であった
28年	* 中国五県都市対抗準硬式野球大会で優勝	香西入社 バックネット、フェンスを整備した、新グラウンド完成
29年	* 全日本軟式野球大会、県予選に優勝、県代 表として徳島市で行われた本大会に出場す * 政府管掌健康保険野球大会出場(於呉市)	金光入社 時代は造船疑獄年であり、造船産業の我社に とっては不況一色に覆われつつあった、又室戸 台風の直撃を受け損害もひどく大変な年であった
30,31年	造船疑獄の嵐はますますひどく、野球どころで はなく、選手の補充は皆無、県大会出場で 憂さを晴らした	30年、野球部の資金稼ぎのため、琉球舞踊団を 招き玉島幼稚園にて公演
32年	* 西日本準硬式県予選に優勝、県代表として 京都市で行われた本大会に出場 * 国体軟式、県大会に優勝、県代表として 中国予選に出場(於米子市)優勝す * 中国代表として静岡国体に出場	小田(虎)、中塚、武智、入社 浅原社外応援 時代は神武景気、天照景気となり苦節3年練習に 明け暮れていた、野球部は息を吹き返した 総監督 大野仁之助 三代目監督 吉田未定 病後の大野監督に替わり、吉田監督が練習を 指揮す
33年	* 健康保険野球大会(於宇部市)岡山県 代表として出場	小野(厚)入社 産業構造の変化が激しく出遅れた浦賀グループ にリストラの嵐が吹く 小田(虎)、中塚退職
35年	* 中国五県野球大会(於広島市)に県代表と して出場、優勝す	特に武智投手の力投につぐ力投が光る
36年	* 日刊工業新聞主催 全日本工業人野球 大会(於明治神宮球場)に出場	* 野球部長 宮崎 堪 急逝す
37年	* 日刊工業新聞主催 全日本工業人野球 大会(於大阪住之江球場)に出場	
38年	野球部 休眠す	浦賀船渠と合併、社名 浦賀重工業となる
39年	野球部は同好会的なクラブチームとして再建 される 以下現在に至る	野球部長 森分 嘉裕 監督 長谷川 清
44年		住友機械と合併、社名 住友重機械となる
50年	OB会発足 第一部は現役チームとOBチームが対戦 していたが現在は休止	第二部は忘年会を行っている 現在28回を進行中

2003/11/25 以上